

奈良県の労働市場の動き（令和元年10月分）

・有効求人倍率（季節調整値）は、1.42倍で、前月より0.03ポイント下回りました。

・全国は1.57倍で、奈良県は0.15ポイント下回りました。

・近畿ブロックは1.58倍で、奈良県は0.16ポイント下回りました。

・有効求人数（季節調整値）は、24,620人、前月より1.0%の減少となり4ヶ月連続の減少となりました。

・有効求職者数（季節調整値）は、17,311人、前月より0.9%増となり7ヶ月連続の増加となりました。

・新規求人倍率（季節調整値）は2.04倍でした。
前月より0.13ポイント下回りました。

・新規求人数（季節調整値）は、8,427人、前月より4.7%の減少となりました。

主要産業の新規求人状況を前年同月比で見ると、「建設業」、「運輸業、郵便業」、「宿泊業、飲食サービス業」、「サービス業(他に分類されないもの)」において増加し、「製造業」、「卸売業、小売業」、「医療福祉」で減少しました。

建設業(前年同月比2.9%増)、
製造業(同18.4%減)、
運輸業、郵便業(同6.5%増)、
卸売業、小売業(同13.6%減)、
宿泊業、飲食サービス業(同25.2%増)、
医療、福祉(同5.5%減)、
サービス業(他に分類されないもの)(同2.5%増)

・新規求人数（原数値）9,019人のうちパート求人は4,453人でした。パート求人比率は49.4%でした。

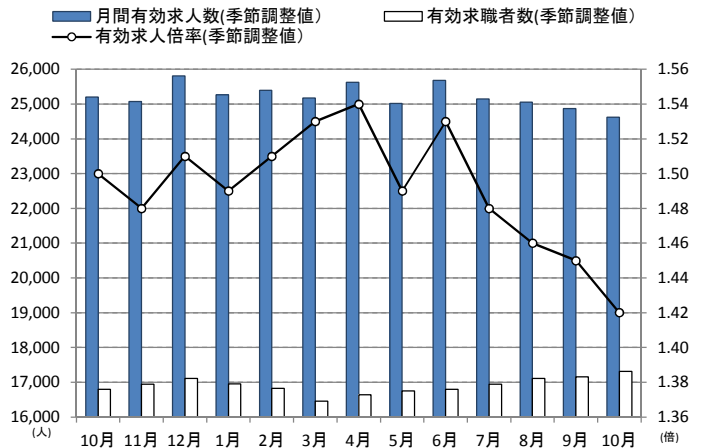
・新規求職者（季節調整値）は、4,130人で前月より1.4%の増加となりました。

・雇用保険受給資格決定件数は1,234件でした。
前年同月比で0.6%の減少となりました。

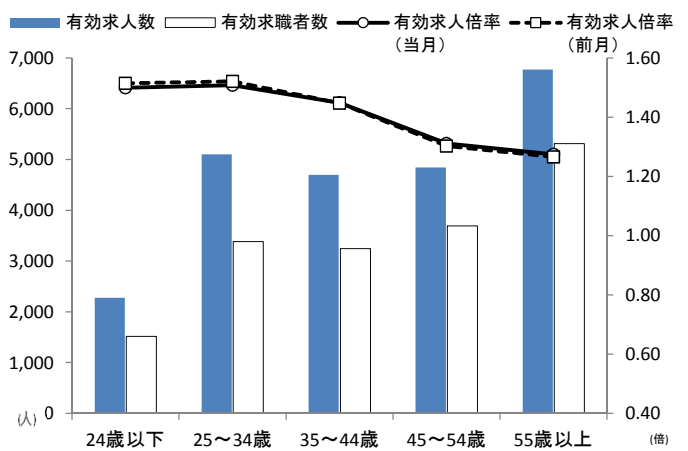
・雇用保険受給者実人員は3,962人でした。
前年同月比で0.3%の減少となりました。

(注) 求人倍率(季節調整値)については、季節調整替えが行われ、平成30年12月以前の数値は改訂されております。季節調整法センサス局法Ⅱ(X-12-ARIMA)により改訂。

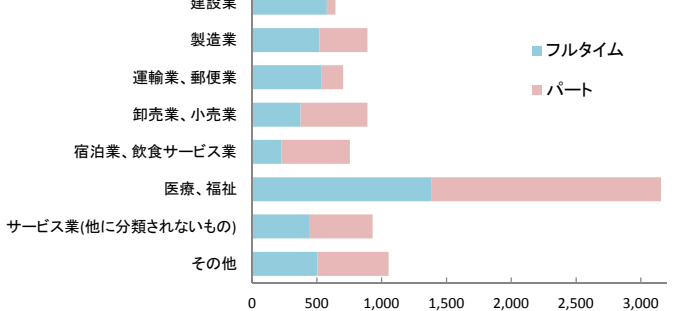
月間有効求人・有効求職・有効求人倍率の動き(パートを含む)



今月の年齢階層別有効求人・有効求職状況(常用・パートを含む)



新規求人数(単位:人)



新規求人の産業別割合

